

出石  
城下町

# 建 伝 かわら 版



平成 20 年 11 月 10 日 発行 編集 / 豊岡市教育委員会 (文化振興課 : 0796-23-1160、出石分室 : 0796-21-9029)

## 出石城下町の魅力に惹かれて

# 視察団が各地から訪問、研修会も多数開催!

これまでから出石には多くの視察団が訪れたり、古いまちなみを活かした研修会が開催されたりしていましたが、今年度に入ってから更に多くの視察や研修会が出石城下町で実施されるようになりました。

10月だけでも次のとおり実施されています。

- 10月3日 出雲市大社地域協議会視察
- 10月4日 兵庫県ヘリテージマネージャー養成講習会(第7期)開催
- 10月9日 上田市議会表敬訪問(視察)
- 10月24日 奈良県都市計画協会視察
- 10月25日 たじま近代化遺産入門講座開催



奈良県都市計画協会による視察の様子。世界に誇る古都から来られた方も「出石はいいまちですね～」との感想!



上田市議会視察的一幕。出石酒造では奥様が語る出石の魅力に熱心に聞き入っておられました。



「たじま近代化遺産入門講座」の様子。出石を舞台にした今回の研修会には非常に多くの参加者があり、城下町の古いまちなみや建物の魅力に惹きつけられていました。

出石伝建地区が国の重要伝建地区に選定され、また芝居小屋「永楽館」の復原や柿落大歌舞伎興行がテレビなどで広く宣伝されたため、全国各地に出石城下町の魅力が伝わったようです。

遠いところに住む人々が、私たちの誇りある財産をほめてくださるのもまた嬉しいものですね。

# 重伝建選定1周年記念講演決定！ 「参加希望者による先進地視察」など保存会で決定

10月29日、出石まちなみ保存会役員会が開催され、今年度の事業などについて協議しました。

その結果、3件の事業を開催することなどが決められました。

## 協議結果

### 重伝建選定1周年を記念して講演会を実施

出石伝建地区は、昨年12月4日に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けました。

来る12月4日に1周年を迎えるので、これを記念して講演会を行うことにしました。

【日時】 **12月4日(木)**

午後**7**時から8時30分

【場所】 **出石総合支所 大会議室(2階)**

【講師】 文化庁 林 良彦 主任調査官

【参加費】 **無 料**

【申込み】 **不 要**

講師の林主任調査官は、現在文化庁の伝統的建造物群部門の主任調査官として出石伝建地区を担当されていますが、かつては三重県亀山市せきじゆく関宿伝建地区の修理修景事業の設計をされていた一級建築士の実務者であり、その長い経験と類まれなる見識により多くの重伝建地区の魅力を再生されています。

講演会では、実践に基づいた、ためになる楽しい話をお聞かせいただけるのではないかと思います。

伝建地区外に居住される方の参加も歓迎しますので、お誘いあわせのうえ、1人でも多くご参加ください。



せきじゆく  
関宿のまちなみ



活発に意見が出される保存会の役員会

### 参加希望者を募集して先進地視察を実施

また、出石伝建地区をよりよくするために、先進地への視察研修を行うことにしました。

この視察研修では、できるだけ多くの人に他の伝建地区を見ていただき見聞を深めてもらうため、参加希望者を募って実施することにしました。

【日時】 来年2月下旬～3月上旬(日帰り)

【行先】 **岡山県高梁市吹屋伝建地区**

吹屋伝建地区は、昭和52年に鉾山町として重要伝建地区の選定を受け、今年に住民保存会で30周年事業をされているほどの、伝建地区の大先輩ともいえる地区です。

この30年もの間の苦労話や成功の秘訣などを住民保存会の方から直接聞き、また町並みを見せていただいて見識を深めようということになりました。

参加費、申込み方法などは未定です。**詳細は伝建かわら版により追ってお知らせいたします。**

### 伊根町の保存会と意見交流会

11月17日に京都府伊根町伊根浦伝建地区の「伊根浦舟屋群等保存会」の方々から「出石まちなみ保存会と意見交流会を行いたい」との提案がありました。

役員だけの対応となりますが、実り多い意見交流会にしようと思いが決まりました。

## まちなみ保存協力建築業者名簿への追加登録

伝建かわら版第13号でお知らせしたとおり、出石まちなみ保存会が基準を満たす出石町内の業者を名簿に登録します。そして、伝建事業を行う施主は、保存会が推薦するそれらの登録業者から入札業者を指名することにより、安心して業者を決定できる仕組みにしています。

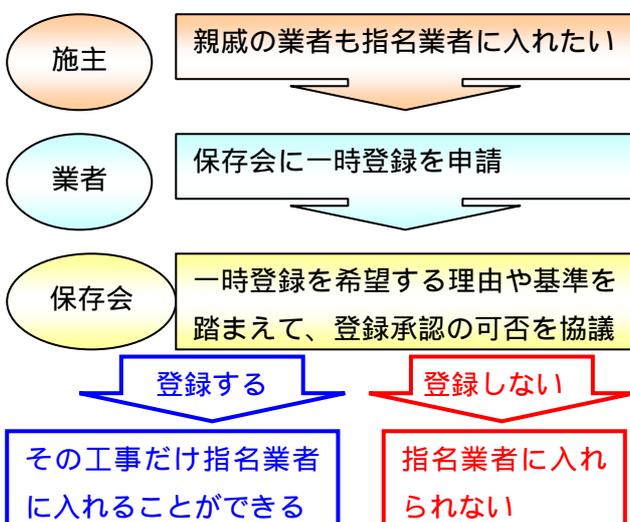
このたび、新たに3者から登録の申請がありましたので協議したところ、3者すべて基準を満たすと判断しましたので、名簿への登録が決まりました。

新しく登録された業者は次のとおりで、これにより合計23業者となりました。

業者名	住所	電話番号
川建工業(株)	鉄砲 27-1	52-2357
藤田建設	宮内 1534-3	52-5279
(株)マルテン	宮内 168-1	52-5658

**注** なお、「他の町に親戚の業者があり、そこに修理を頼みたい」、「これまでから他の町の業者に修理してもらっているので、その業者に依頼したい」など特別な理由がある場合は、登録外業者であってもそれぞれの工事ごとに限って保存会の協力建築業者名簿に登録することができる(指名業者に入れられる)ことにしています。

### 登録外業者を特定の工事だけ指名業者とする流れ



指名業者に入っても、落札しなければ伝建事業の工事を依頼することはできません。  
入札の実務は設計士に任すことができます。

## 報告事項

また、教育委員会から次の事項を報告しました。

## 平成21年度伝建修理事業

来年度の伝建修理事業の実施に向けて、市教育委員会は9月24日、県教育委員会に5件の補助金申請の希望(事業計画)を伝えました。

今年の6月末時点ではもっと多くの申請希望がありましたが、その後に辞退されるなどして、最終的に5件になったため、そのすべてを県教委に伝えたものです。

今後は県教育委員会から事業採択の査定結果(11月の内々示)が示された後、県教育委員会から文化庁に事業希望や工事内容を説明していただき、2月当初の国の補助金採択結果を待ちます。

**注** 伝建修理事業は国県の補助金を財源にしていることから、国県の補助金採択の結果によって事業が実施できるかどうか(補助金を交付することができるかどうか)が決まる仕組みになっています。

そのため、事業希望の届出は6月末を期限としていますが、補助金を交付することができるかどうかは翌年2月まで待たなければ決まらない仕組みになっています。

## 武田会長が全国紙に寄稿!

文化行政に携わる行政職員はもとより、全国あまたの“文化”関係者が購読している、文化庁編集の「文化庁月報」(株ぎょうせい出版)という月刊誌があります。

この月刊誌には「伝建歳時記」というコーナーがあり、毎月全国各地の伝建地区が紹介されていますが、10月号のこのコーナーにおいて、武田厚志会長が寄稿された文章が掲載されました。

出石城下町の歴史や、初午大祭、お城まつりの事業、観光協会の活動などと絡めて出石の人々が大切に守り伝えてきた伝統と文化を温かく綴った内容になっています。

機会を見て、伝建かわら版でも文章を掲載して紹介したいと思います。

# 特定物件の修理 緊急度調査 始まる！

## アンケート調査と外観調査にご協力をお願いいたします

市教育委員会は7月22日、今後の事業計画について県教育委員会と協議を行いました。

前号(第14号)の伝建かわら版でお伝えしていますが、この席において、県教育委員会から「文化財保存事業として効果的、効率的に修理されるように、すべての特定物件<sup>1</sup>について修理緊急度を調査するように」との指導を受けました。

そこで、市教育委員会は、すべての特定物件についてアンケート調査と外観からの老朽度調査を行うことにしました。

アンケート調査については、すでに特定物件の所有者の方々に簡単な調査票を送付しています。11月10日(月)を回答期限とさせていただいていますので、何卒ご協力をお願いいたします。

また、外観からの老朽度調査については、専門知識や経験、技術が必要なことから、出石まちなみ設計士会に調査を委託しました。

これらの調査結果を参考に、今後の伝建修理事業を進めていきたいと思えます。

特定物件でない建物の所有者にはアンケート調査票は送付していません。  
今回の調査結果だけをもって修理事業実施の優先順位を決めるものではありません。



10月25日に行われた、出石まちなみ設計士会による外観調査の“めあわせ”研修会。  
複数の設計士が手分けをして調査を行うので、判定にバラつきが生じないように、判定のポイントなどについて事前に調整を行いました。

なお、出石まちなみ設計士会の会員は次のとおりです。(敬称略・五十音順)

会員	事務所	所在地
池口善啓	(有)里やま工房	豊岡市
大林 守	(株)川嶋建設	豊岡市
河辺 操	河辺操建築事務所	養父市
高村康之	高村設計事務所	香美町
田中秀雄	(株)田中工務店	朝来市
徳網啓吾	(株)徳網建設	豊岡市
中尾康彦	建築工房ヴェネックス	養父市
西垣善夫	西垣建設(株)	朝来市
西谷瑞雄	瑞建築設計室	香美町
林 勤	井上良一設計事務所	豊岡市
福岡隆夫	(株)福岡建築事務所	豊岡市

### 出石まちなみ保存会 会計 日足 豊さん(田結庄)から一言！

出石の家は、3～4km四方の間に密集しています。  
何百年、何拾年経っているか知りませんが、昔の家が多く、価値のある町だと思っています。  
この町並みを未来に残すということは、大変な事と思っています。  
町民の理解と行政の力で、事業がますます発展することを願います。

文化庁  
“保存修理”  
ロゴマーク

修理現場から

文化力  
POWER OF CULTURE

<sup>1</sup> 特定物件：修理して保存することに所有者の同意を得た、歴史的に価値が高いと認められる伝統的建造物、工作物、環境物件(ここでは建造物のみ)